

学校区分	学校名	学校長名
小学校	和歌山市立吹上小学校	内田 敏夫
学校所在地		
〒640-8137 tel 073(424)8181 fax 073(424)8182 e-mail fukiage@wakayama-wky.ed.jp		
担当者名		役職名・担当教科
岩橋友妃子 坂上 勇		教諭・4年生担任
【学校の概要】		
<p>本校は、和歌山城がある伏虎山の南に連なる砂丘のふもとにあり、昔は吹上の浜とよばれていたところである。校区の大部分は、江戸時代に和歌山城の外堀の中にあり、武家屋敷があったところである。校区の中央を南北に国道42号が通っており、日本赤十字和歌山医療センター、和歌山保健所、和歌山西警察署、NHK和歌山支局などがある。本校では、1年生から6年生まで縦割りの14グループを編成し、掃除やグループ遊びを共に行い、異学年の交流をすすめている。また、「先ず 健康」をスローガンに健康教育にも力を入れている。</p>		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 4年生 39名	職員 3名	本校・高野山
実践研究テーマ		
人々のねがい 世界遺産を守ろう		
実践教科等名	単元名	
社会・総合的な学習	「世界遺産について学ぼう、伝えよう！」	
【キーワード】 世界遺産 町づくり 高野町 情報活用能力		
【単元目標】		
<ul style="list-style-type: none"> (1) 世界遺産について知る。 (2) 和歌山県の世界遺産について、学習を深める。 (3) 高野山を見学し、世界遺産を守るための人々の工夫や努力を知り、まとめる。 (4) 調べたことをもとに考えたことについて、まとめ、発表する。 (5) 学習を終えての感想をかく 		
【学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）】		
全体 9 時間 （「世界遺産について学ぼう」 6時間 ）		
【地域および文化財管理者等との連携の実施状況】		
和歌山県世界遺産センター 世界遺産入門 次世代育成事業（現地学習）		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	世界遺産について知る。 ・「世界遺産」について各自が知っていることを出し合う ・どんな世界遺産があるのだろうか	・子どもたちが知っている世界遺産には、どんなものがあるのかを出し合い、自然・文化・複合遺産から成り立っていることを知る。	発言 ノート
2	和歌山県の世界遺産について調べる。	・日本にある世界遺産について調べたことをまとめ、伝え合う。 ・和歌山県にある世界遺産について知る。	発言 ノート
3	世界遺産の町 高野町に住む人々の町づくりを予想しよう。	・世界遺産の町を盛り立てていこうとする高野町の人々の町づくりへの努力を予想する。	行動観察 発言 メモ帳
4	高野山へいってみよう	・説明を聞いたり、高野山を散策したりして、世界遺産についての学習を深めたり、町づくりの工夫や努力に気づく。 ・まとめる。	メモ帳 ノート
5	世界遺産について調べたことや高野町に住む人々の町づくりの工夫や努力についてまとめ、発表しよう。	・友達がまとめたものの発表を聞き、感じたことや思ったことを伝え合う。 ・人々の世界遺産への思いをまとめる。	発表シート 発言
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>成果 「世界遺産入門」の学習を通して、世界遺産について関心をもっていた。また、歴史ある高野山を散策できたことで、子どもたちは、和歌山県に生まれたことへの誇りを感じられた。また、町の人々の世界遺産への思いを感じ取ることができていた。</p> <p>課題 町の人々にインタビューしたり、グループで見て回れる時間がとれたら、もっと身近に世界遺産を意識できたと思う。 もらったパンフレットや本などを活用し、自ら進んで調べたりすることができる力をさらに身につけさせていきたい。また、伝え合う経験を積ませていきたい。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>・子どもたちは、「世界遺産」という言葉はテレビなどで聞いたことはあったが、自分たちの生活からかけ離れたものという印象をもっていた。熊野古道を歩いたことがある子どもほとんどいなかった。しかし、今回このような機会を与えていただき、以前に比べ身近に感じる事ができたと思われる。「自分たちにとって大切なものだ、守っていくべきものだ。」という意識が芽生えたようである。さらに、世界遺産を守ってくれている地域の方々の努力やその願いについても触れることができた。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>・社会科では和歌山県内の市町村の町づくりについて1市町村ずついねいに学習を進めてきた。その学習の中で、高野町では、世界遺産を中心に学習した。そのことにより、自分たちが住んでいる和歌山県への関心と理解をよりいっそう深めさせることができた。自然と歴史豊かな和歌山県に子どもたち一人ひとりが誇りをもてたらと願っている。</p> <p>・教科書だけでなく、自分たちで調べ、みんなで考えたり、まとめたりする学習を多く取り入れていきたい。</p> <p>・ふるさと和歌山県への関心をさらに高めていけたらと考えている。</p>			

様式 2

平成28年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

今日、高野山に行きました。まず、机がある部屋に行き、そこで勉強しました。世界遺産は3つに分けられていて、高野山は文化遺産であることにびっくりしました。山と書いてあるので自然遺産なのかなと思ったからです。もう一つおどろいたことがあって、それはこわされてしまった世界遺産が2件もあることです。わけは、2つとも人間の手でこわされていて自然や動物にはいいめいわくだからです。

行った先の先生は「世界遺産とは何か」から教え始めてくれました。・・・未来に伝えなければならない貴重な文化財や素晴らしい自然などのことをいうそうです。・・・今回の学習では、世界遺産のすばらしさがとても人気があるんだなと思いました。よくわかりました。



高野町に行って見た工夫は1つ目は、休けい場所がありました。そこは、ごみとかも落ちていませんでした。外国の人とかわたしたちみたいに来た人たちがゆっくりくつろげるようにしているんだなと思いました。2つ目はおみやげ店があったことです。その風景にあったお店にしてるんだなと思いました。3つ目は、木や風景のことです。まわりにある木は、美しくみせるために木の枝を切ったりしていました。4つめはキャラクターのことです。こうやくんというキャラクターがいました。かわいいとわたしは思ったので人気があるんだなと思いました。



ぼくは、高野山に行って外国の人のおもてなしを二つと日本人へのおもてなしを1つを見つけました。外国人へのおもてなし1つ目は、外国語のパンフレットをおいているところです。なぜかという、もしぼくが外国人で日本語のパンフレットをもらうと、読めないし意味すらもわかりません。なので、作ったのはすごいなと思いました。二つめは、日本語の近くに必ず英語が書かれているということです。日本人へのおもてなしは、かたい説明文の近くにやわらかいこうやくんのせつめいがついているところです。高野山へ行って、どんな人でも楽しく旅ができるようになっているなと思いました。高野町をもっと知ってみたいです。



